

実際に飛ばしてみよう

始めはドローンがなかなか上昇しないチームや、思う方向に飛ばなかったチームもありました。「もう少し高く飛ばしたかったな」「左に曲がると思ったのに右に曲がったね。どうすればうまく飛ぶかな」など、児童同士で解決に向けて話し合いをしました。



試行錯誤を重ね、全てのチームがゴールにたどりつくことに成功。
児童たちは、問題点に気付いて解決することや、協力する大切さを楽しんで学んでいました。



児童と先生にインタビュー



左から
谷元さん 矢島さん 泉さん

前に進める操作と、上に飛ばす操作を間違えたり、分からないことがありました。どうしたらうまくいくのか、友達と相談して何回も挑戦しました。一つ一つの指示を確認したら、上手に飛ばせました。
またドローン授業をやってみたいです。



光久 広志 先生

困ったときに友達のを借りながら、問題解決力や論理的思考を高めることが、ねらいでした。教師に助けを求めることなく、自分たちで「どこが違った？」と修正し、解決できていたのがよかったです。
児童たちにはプログラミング的思考を生かしながら、さまざまなことにつなげてもらえたらと思います。

じんけん作品展

人権や平和の大切さをテーマに、市内の小中学生から集まった1434点の作品の中から選ばれた入賞作品を、12月にメイシアターで展示しました。

来場者アンケートより

どの作品も、大人でもハッとさせられるメッセージが、絵と言葉に込められていると感じました。

子供たちが人権のことを考え、作品にしている姿がとても立派です。



ドローンが教材に プログラミング教育

小中学校では、「目的を達成するために、何をどうすればいいのか」を論理的に考える力(プログラミング的思考)を育てるプログラミング教育が必修となっています。今回はドローンを使った授業を紹介します。

プログラミングでドローンを動かしてみよう

自分が求める動作をさせるためにコンピュータに指示することをプログラミングと言います。ドローンの動きを設定し、実際に動かしてみることで、子供たちの想像力や論理的思考力、問題解決力を育みました。

指示(設定してみよう)



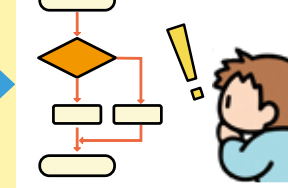
コンピュータでドローンの動きを設定。高さや距離、速度などを決めます。
どうすれば指示どおりに飛ぶかを考えます。

実証(やってみよう)



実際にドローンを飛ばしてみます。

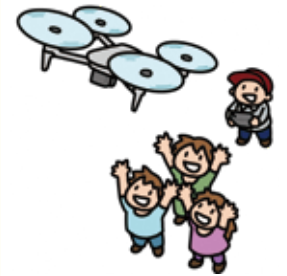
修正(どこが違った)



思ったようにドローンが飛ばなければ、指示を修正。

問題解決まで実証と修正を繰り返していきます。

解決



飛行成功!

豊津第一小学校の授業に密着!



授業のゴール

ドローンが正確にコースを通過して、ゴールまでたどりつくように飛ばすにはどうすればいいか、みんなで協力しよう

1人1台の学習用端末(iPad)を活用



みんな真剣!

今回は、体育館を往復するコースでドローンを飛ばします。先生から授業のゴールを説明。



学習用端末とドローンをWi-Fi接続すれば準備完了!

